

◆1869年から1913年までに中国海関が発行した官報をデジタル化

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

中国上海図書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

中国海関：税関官報 1869-1913年 Chinese Maritime Customs Service (CMCS): The Customs' Gazette, 1869-1913

(Source: Shanghai Library / Content: 36,710 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

本アーカイブは1869年から1913年までに貿易四季報として中国海関(通称CMCS)より発行された機関誌『税関官報』を収録したコレクションです。CMCSは、清朝中央政府が太平天国の乱の影響下で関税徴収を行えない事態に陥っていたため、代わりに関税徴収業務を担う目的で1854年に設立された機関です。CMCSは英国をはじめとした国際的性格が色濃く、外国人税務司制度のもと中華人民共和国が成立する1949年に至るまで歴代組織、運営されました。CMCSの管轄は主に海関、郵政、港湾管理、気象通報、密輸の取り締まり、中国沿岸および長江の警備でした。それだけに留まらず、CMCSはその機能と影響力の拡大に伴い、単に徴税機関としての枠を超えて、融資交渉や通貨改革などの財政および経済活動や、地方政治並びに外交を含めた国政にも深く関与していきました。CMCSは数多くの報告書や出版物を作成しましたが、その内上海の中国総税務司の命によって刊行された『税関官報』は天津、寧波、広東、廈門、福州など各地の税関によって作成、提出された貿易報告書を季刊にて発行したものです。各報告書には輸出入や再輸出、国内輸送、旅客交通、歳入などのデータ記録が掲載されています。また、『税関官報』には併せて税金や罰金および没収品要綱、告示、執務の変遷に関する各報告書が収録されています。本アーカイブは中国内外の交易状況をデータとして窺い知ることができ、当時の中国の経済活動を考察する上で非常に貴重な資料です。

- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IPアドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDFダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoftアカウントとのログイン



第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

